

(報告様式)

令和 6 年 12 月 23 日

独立行政法人家畜改良センター
理事長 入江 正和 殿

独立行政法人家畜改良センターにおける動物実験実施状況等に係る自己点検・評価
に対する検証結果について

独立行政法人家畜改良センターにおける動物実験実施状況等に係る自己点検・評価（令和 5
年度分）について検証を行いましたので、結果を下記のとおり報告します。

麻布大学 獣医学部
教授 柏崎 直巳

記

※自己点検・評価において改善が必要と考える項目の□にチェックを入れ、意見等を記入する。

該 当 項 目	左記項目の改善に向けた意見等
☐ 1. 規程	貴センターから提出された「令和 5 年度動物実験に自己点検及び評価報告」に関する資料に対して、「農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に適合しているか外部からの視点で検証した。その結果、指摘すべき大きな問題・課題は見当たらなかった。貴センターにおける「動物実験計画」および「動物実験実施報告書」に対する動物実験委員会の活動や指摘事項等は適切で、貴センターの動物実験委員会が組織内で健全に自律的に機能しているものと高く評価できる。しかし、研修を含めた「教育訓練」において動物を使用する場合には、「動物実験」と同様に審査することが望ましい。
☐ 2. 動物実験委員会	
☐ 3. 施設等の維持管理	
☐ 4. 動物実験計画の審査及び実施	
☐ 5. 動物実験実施報告書	
☐ 6. 実験動物状況報告書	
☐ 7. 実験動物の健康及び安全の保持	
☐ 8. 生活環境の保全	
☐ 9. 人への危害・環境の保全上の問題防止	
☐ 10. 地震・災害等の緊急時の対応	
☒ 11. 教育訓練	
☐ 12. その他	

以上

2024年12月02日

独立行政法人家畜改良センター
理事長 入江 正和 殿

独立行政法人家畜改良センターにおける動物実験実施状況等に係る自己点検・評価
に対する検証結果について

独立行政法人家畜改良センターにおける動物実験実施状況等に係る自己点検・評価（令和5年度分）について検証を行いましたので、結果を下記のとおり報告します。

酪農学園大学
農食環境学群 教授 森田 茂

記

※自己点検・評価において改善が必要と考える項目の□にチェックを入れ、意見等を記入する。

該 当 項 目	左記項目の改善に向けた意見等
☐ 1. 規程	4. 審査及び実施（実験計画書に関して） <u>供試頭数の明示に関して</u> 品種ごとの頭数を供試動物の内数として表記している例がみられる。実験目的上あるいは実験遂行上、必要のある場合は、品種について記載は必要となる。しかし、品種を越えて供試動物数の調整を図りたい場合は、その数字が上限の根拠となることに、計画書段階で注意喚起いただきたい。例5-1、5-17 <u>受付番号5-17に関して</u> 計画書段階で、供試動物数には想定される数字を見込み、「約」は使わないよう、審査段階でのチェックが必要であった。 <u>変更届（様式2）に関して</u> 実験の一部中止について、変更届の未提出があることから、様式2の欄外「動物実験の中止」は、「動物実験の中止（一部分であっても提出する）」などの表記にあらためることが必要と思われる。
☐ 2. 動物実験委員会	
☐ 3. 施設等の維持管理	
☒ 4. 動物実験計画の審査及び実施	
☒ 5. 動物実験実施報告書	
☐ 6. 実験動物状況報告書	
☐ 7. 実験動物の健康及び安全の保持	
☐ 8. 生活環境の保全	
☐ 9. 人への危害・環境の保全上の問題防止	
☐ 10. 地震・災害等の緊急時の対応	
☐ 11. 教育訓練	5. 動物実験実施報告書 <u>受付番号5-5</u> 年度末まで実施を模索した結果であろうが、やはり採取を中止した段階（第17、18、19、20回次それぞれ）で変更届が必要であった。 <u>受付番号5-6</u> 分娩頭数減少については結果報告でも可能であるが、委員会指摘の通り、雄を利用しないことについて
☐ 12. その他	

	は、その判断をした時点で実験計画の中止にあたるため、様式 2 の変更届提出が必要である。 <u>受付番号 5－17</u> 計画時頭数に「約」は使わず、数字を超える場合は、様式 1 での提出が必要となることを、確認すべきである。 <u>受付番号 5－18</u> 去勢についての対応が、報告書（7）に全く記載されていない。計画書の 11）において「予防のために抗生物質を投与」するように読み取れる箇所があるが、WTO や農水省では、予防を目的とした常習的投与は推奨していない。計画書・報告書では、「・・・消毒し、都度、獣医師の判断のもと・・・」などの表現を用いるべきである。 <u>受付番号 5－24</u> 委員会指摘の通り。 <u>受付番号 5－31</u> 委員会指摘の通りである。本件は、内数としての「雌雄」別頭数による問題であり、上記、「供試頭数の明示に関して」の指摘と同様な課題を含んでいる。実験計画書の書き方例（あるいはガイダンス資料）などとも関係するだろうが、品種や雌雄の明記を必要としない実験についての記載方法をご検討願いたい。 <u>受付番号 5-35 および 5-36</u> 委員会指摘の通り <u>実験番号 5－37</u> 委員会指摘の通り
--	---

以上